



りんどうの審査の様子

## りんどうなど鮮やかに 花き共進会に秀作並ぶ

町産業振興協議会主催の花き共進会が9月9日、産直ハウスくずまき高原で開催され、鮮やかなりんどうとトルコギキョウが並びました。今年は雨が多く、薬剤散布など管理が難しかったとのことですが、出品された花は色鮮やかに力強く咲き誇っていました。八幡平農業改良普及センターの石川聡子審査員は「葛巻町の花は、県の共進会でも入賞が期待できる高いレベル」と評価していました。審査の結果、りんどう、トルコギキョウともに亀山秀長さん（星野）が金賞を受賞しました。

## 北緯40度エリア 食の魅力を発信

(株)岩手くずまきワイン主催の「乾杯でつながろう 北緯40度酒と食まつり」は9月10日～11日、森の館ウッディの特設会場で開催され、盛岡や八戸などから約600人が来場しました。

このイベントは、北緯40度線上の地域の、豊かな食文化の魅力を体感してもらおうと同社が初めて企画したものです。ゲストの俳優、辰巳琢郎さんが乾杯を行い、来場者は食を通じた交流を楽しんでいました。また、各地域自慢の酒や食材の紹介がインターネットでライブ中継され、全国にその魅力を伝えました。



辰巳琢郎さん（円内）の発声で乾杯する来場者

## 新たな観光名所 大橋で食の催し

8月27日、「新大橋でビールとワインを楽しむ会」が開催され、約60人が参加しました。このイベントは、本年3月に木製上屋が完成した町道葛巻浦子内線の新しい大橋で、食と交流を楽しもうと町の第3セクター3社が企画したものです。参加者は、橋の上を吹き抜ける風と木製上屋の木のぬくもりを感じながら、食事や歌謡ショーを楽しんでいました。木製上屋付きの大橋は、今後も生活道としての役割と併せて、中心市街地の新たな観光名所として多目的な活用を図ります。



大橋の木製上屋の下で食事を楽しむ参加者

## 避難所設置など 有事に備え訓練

町総合防災訓練は9月11日、小屋瀬中学校を会場に、住民や消防団、関係機関など約140人が参加して開催されました。今回の訓練では、大雨による浸水被害や土砂災害などを想定して、災害対策本部の設置運営訓練や地区自主防災隊の避難所設置訓練、消防団の火災防御訓練などが行われました。地区自主防災隊の皆さんは、町職員や葛巻分署員の指導の下、体育館に仮設トイレやプライバシー保護のパーテーションを設置。組み立て方や利用方法を熱心に学び、有事に備えていました。



仮設トイレを組み立てる自主防災隊の皆さん

## 葛巻小で車いす体験 子ども福祉教室開催

9月5日、葛巻小学校（佐々木美江子校長、児童103人）の3年生17人が参加して、子ども福祉教室が行われました。教室では、社会福祉法人誠心会の職員が講師を務め、車いすの安全な使い方や利用者を安心させる声のかけ方などを説明しました。体験した下天廣蒼さんは「車いすに乗るのは怖かったけど、周りの人にサポートしてもらおうと怖くなかった。困っている人がいたら助けたい」と、車いす利用者の気持ちや介助する際の注意点などに理解を深めた様子でした。



車いす利用を体験する児童